

1 日時 令和8年2月26日(木) 14時30分～15時45分

2 場所 小会議室

3 出席者 13名

委員 5名 学校関係者(校長, 教頭, 事務長, 四部主任)

※ 代表生徒 4名

4 会順・内容

(1) 開会の言葉

(2) 校長あいさつ

(3) 各学科生徒代表3年間の取組報告

(4) 委員と代表生徒の意見交換

① **A委員**: 南高校の魅力を一言で表現するならどのようなことですか。

A. 「先生が親身に寄り添ってくれる」「どんなことにも挑戦させてもらえる環境」「桜島が見えるなど、立地が良い」「文武両道が実現できる」など

② **B委員**: 南高校での一番の思い出は。

A. 部活動での国スポ3位, 修学旅行, 3年生の時の文化祭(バンド演奏など)など

③ **C委員**: 「働き方改革の中で, 人とは違う努力を1つ積み重ねることが, 社会で抜き出されるチャンスになる」との激励をいただいた。

(5) 学校評価アンケート集計結果の説明

(6) 学校の現況報告(教務部, 生徒指導部, 進路指導部, 保健部, 事務部, 普通科, 商業科・情報処理科, 体育科)

(7) 委員の評価及び質疑応答

① **D委員**: 生徒のみなさんの発表をみて, 南高校はこんなに頑張っていると伝えたいと思った。

交通の面で信号のある交差点で横断歩道の前でスマホを見ており, 車の方が渡るのか渡らないのか判断に迷い, 通行できないことがある。生徒たちに伝えてもらいたい。ヘルメットの着用については徹底されていてよい。

A. (生徒指導主任) 徒歩で通学する生徒については今回の御指摘を生徒に伝えて, 指導を行う。ヘルメットについては定着が図れてきたと感じる。

② **F委員**: 南高校の活躍は, ニュースや新聞等でいつも拝見している。ITパスポートの資格取得が一桁から35名取得へ大きく増えた要因は何か?

A. (教頭) 専門学校のKCSさんに協力をいただき, 10回学校で講義をしてもらっている。そこで土台を作り, 3月の受験に向けて学習を続けている。また, この資格が大学の特待生や推薦の条件になっている大学もあり, 生徒たちにとっては大きなモチベーションとなっている。

A. (進路指導) ITパスポートの問題傾向として4択形式であることから, 生徒たちが取り組みやすい問題となっていることも要因であると考えます。

A. (教頭) 検定には情報分野と会計分野があり, どちらかというとなら情報分野の学習に力を注いだ生徒たちが多かったのではないかと感じます。

③ **A委員**: 学校評価アンケートへの保護者の回答率が79.9%と高い数値であることに驚いた。どのような対策をとっているのか。保護者の南高校への関心の高さを感じる。

A. (教頭) 本校で導入している Classi のアンケートを使用して実施したが、普段から連絡ツールとして使用してなじみのあるツールであることや数回にわたり回答を促したことがこの回答率につながったと考える。また、意見の欄も設けているため年間で唯一保護者が意見を言える場になっていることや意見に対して速やかに対応することから回答率も高いのではないか。

④ **A 委員**: 入試制度の変化に伴い、就学支援金等関係から中学生の私立志向が高まっている。私立を不合格になる生徒も増えてきている。このことが少なからず公立学校にも影響してくると考えるが、これから先の傾向など分からないか？

A. (校長) 公立高校全体としての傾向は分からないが、教育委員会でも高校再編検討が進められている。就学支援金についても我々公立には大きなダメージがあるのは間違いない。早い時期に決定する私立へ行きたくなるのも仕方がない。

本校の魅力を充実し、しっかりとアピールしていきたい。ブログとかだけではなく実際に小学校や中学校へ足を運び、高校生の努力しているところをアピールするなど、色々なことを模索していくしかない。世の中の流れを見極めつつ、本校はこれで行くというものを魅力化していきたい。

⑤ **A 委員**: 南高校へ行くことを目指している生徒はたくさんいる。やはり地元にある学校だけではなく、『地元にある、いきたい学校』という印象があると思う。ぜひ今の素晴らしい取り組みを続けてほしい。

⑥ **B 委員**: 南高校はすごく素晴らしく、活気があると思っている。私たちの幼少の頃は近くにどのような学校があるか知らず、今は学校の選択が広がってきているが先ほどの4人の発表をみて、谷山という南高校の未来があるということを感じた。

学校評価アンケートの生徒の「授業は予習を十分にしている」が気になっている。小学校でも一番の強みが自学自習の自分から学んで自分でやるである。やはりここで差がある。これは小学校からの指導ではないが家庭との連携だと思う。先ほど発表した生徒さんが朝早く来て自分で学習時間を作っているという。このような習慣を作っていくとさらに発展していくと思いい、大変嬉しく感じた。是非頑張ってもらいたい。

⑦ **C 委員**: 校則については基本だと思うので、緩めすぎても高校のカラーがなくなってしまう。緩めたあと、厳しくすることはなかなかできない。高校卒業後はどのような髪型でも挑戦できるので、高校の時にしかできないスタイルがあるということを伝えてほしい。

A. (教頭) 校則検討会のなかで生徒たちが色々まとめ素晴らしいプレゼンをしてくれました。このことに関しても生徒たちにとって大きな学びの場になったと考えます。生徒たち自身が「基準を変えるならば、しっかり守らせなければいけないので、わかりやすいイラストや説明ができるよう自分たちも考えていきます」と言ってくれている。少し基準は緩めていくが、そこを徹底されれば、結果的には学校全体として清潔感があったり、周囲から見た時に好感をもたれたりするような状態にもなると思うのでしっかり折り合いをつけながら進めていきたい。

(8) 諸連絡

(9) 閉会の言葉

信頼される学校づくりのための委員会 会議録

1 日時 令和8年2月26日(木) 16時00分～16時15分

2 場所 校長室

3 会順・内容

(1) 開会の言葉

(2) 校長あいさつ

(3) 現況報告及び意見交換

① **A委員**：学習コンテンツの Classi や自動採点システムの YouMark は有料ですか。先生方の分はどのようになっているか。

A. 有料で生徒負担の年間約4,000円。自動採点は Classi のオプションなのでデジタル採点だけで言うと年間165円。先生方は無料。

② **A委員**：電気代の高騰について中学校は教室等もLEDで新しくなったが、そのような対応はないか。

A. 本校は、電気代が他の学校よりも高額で指摘を受けている。節電等の意識付けをしていきたい。しかし、規模も大きく、部活動でも活用していることから厳しい部分もある。体育館等も全てはLEDになっていない。

休日の自習も自習室を設け、集まって学習し、エアコン等を共用するなどの工夫をしている。

③ **A委員**：勤務時間については See-Smile を使用しているということだが正しい時間が記録されているか。

A. 県立は基本的に自分で出勤・退勤をクリックすることになっている。出勤した時間ではなく働き始めた時間で入力している。間違えて入力した場合も修正できるようになっている。

A委員：中学校では自動打刻なので、数字を出した時に実際はこれよりも長いのではないかと持ち帰りということはないかという話になる。パソコンのオン・オフで読み取られてしまう。後で修正することもできるが、毎月修正する先生はほとんどいない。

A. システムの違いはある。勤務時間が極端に長い方は、休日の部活動指導に当たっており、遠征などは1日で10時間を超えてしまう場合がある。

A委員：中学校では部活動の地域展開が進んでいるが、土曜日などはパソコンを開くことができないのでそのまま部活動に行き、数字は「0」ということがある。

B委員：タイムカードみたいなものを使えば解消することができるかもしれないが超過勤務時間も45時間から30時間へ変わっているので「(休日に)仕事をしないで」という時代になってくるようだ。

A委員：職員の部活動への意欲が高まらない。地域展開については教員という立場で土日に部活動に関わると3時間程度で2,700円。地域展開になり教員が指導者登録をすれば国の試算で行くと4,800円ぐらい。このくらい上がると職員のモチベーションもあがるのではと考える。

(4) 閉会の言葉